

# 長崎県軟式野球連盟各支部対抗審判員親睦野球大会

長崎県軟式野球連盟は昭和22年春に発足されたが、審判技術の向上と審判員相互の親睦を図るため『長崎県公認野球審判協会』が、昭和57年に設立され、会長に松沢繁(長崎)、理事長が平井清光(同)、審判長に松尾隆藤(県北)。副審判長が54年3月に全軟連審判技術指導員となった陶山裕介(島原)に、上川善高(長崎)と平田俊男(福江)の3氏。事務局長には、佐藤登(長崎)が就き当初に公認された審判員数は16支部合計で335人。

その後、平井が県連理事長就任で副会長となり、理事長に松尾(平成13年に69歳で逝去)、小川勝憲(諫早)が就くなど役員人事に変遷があったが、平成17年2月から『長崎県軟式野球連盟審判部』と名称が変わり、役員組織にも変更があり、審判部長、審判長、事務局長の三役に、各支部審判部代表委員1名による委員会とした。

『各支部対抗審判員親睦野球大会』は県審判協会が結成される4年前の昭和53年に、全軟連審判技術指導員で県連盟審判長・松尾高藤らの発案により、各支部間の交流を深めることから、審判部納会と銘打ち、毎シーズン最後を締めくくる行事として、土曜日の前夜祭(納会)と日曜日の野球大会を、支部持ち回りで行なってきた。

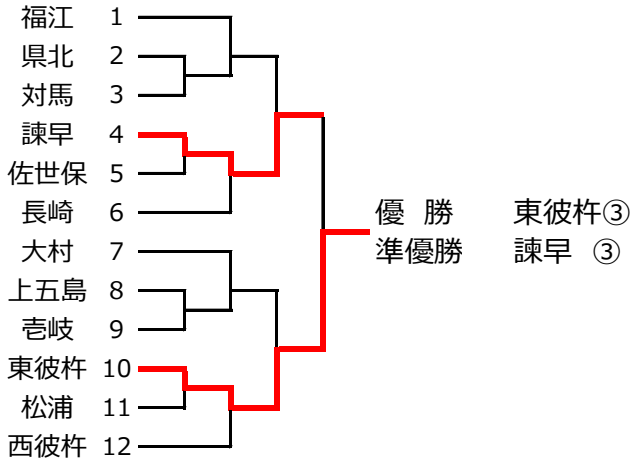
野球大会より盛り上がったのは前夜祭で、翌日に対戦するチーム間では、既に前哨戦の様相もあり和気あいあいのひと時を過ごしていた。

試合におけるチーム9人には年齢制限が設けてあり20歳代=1名。30歳代=3名。40歳代=4名。50歳代=1名。バッテリーは2イニングまで45歳以上で、3イニング以降は40歳以上の取り決めがあった(平成2年の平戸大会要項より)。

第1回大会からの戦績は・・・。

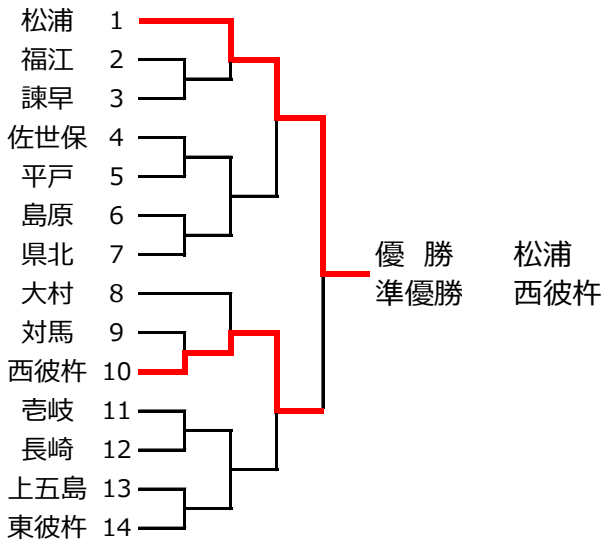
<p><b>第1回(昭和53年)開催地=大村</b></p> <p>優勝 佐世保 <span style="float: right;">詳細不明</span> 準優勝 諫早</p> <hr/> <p><b>第2回(昭和54年)開催地=島原</b></p> <p>優勝 島原 <span style="float: right;">詳細不明</span> 準優勝 諫早 ②</p> <hr/> <p><b>第3回(昭和55年)開催地=佐世保</b></p> <p>優勝 諫早 <span style="float: right;">詳細不明</span> 準優勝 福江</p> <hr/> <p><b>第4回(昭和56年)開催地=県北</b></p> <p>優勝 福江 <span style="float: right;">詳細不明</span> 準優勝 佐世保</p> <hr/> <p><b>第5回(昭和57年)開催地=諫早</b></p> <p>優勝 諫早 ② <span style="float: right;">詳細不明</span> 準優勝 長崎</p> <hr/> <p><b>第6回(昭和58年)開催地=壱岐</b> <span style="float: right;">参加数=8</span></p> <p>優勝 佐世保② <span style="float: right;">詳細不明</span> 準優勝 大村</p> <hr/> <p><b>第7回(昭和59年)開催地=長崎</b> <span style="float: right;">参加数=11</span></p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="flex: 1;"> <p>諫早 1</p> <p>東彼杵 2</p> <p>松浦 3</p> <p>対馬 4</p> <p>福江 5</p> <p>佐世保 6</p> <p>県北 7</p> <p>壱岐 8</p> <p>上五島 9</p> <p>長崎 10</p> <p>大村 11</p> </div> <div style="flex: 1; text-align: center;"> </div> <div style="flex: 1; text-align: right;"> <p>優勝 諫早 ③</p> <p>準優勝 県北</p> </div> </div>	<p><b>第8回(昭和60年)開催地=東彼杵</b> <span style="float: right;">参加数=10</span></p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="flex: 1;"> <p>県北 1</p> <p>大村 2</p> <p>対馬 3</p> <p>東彼杵 4</p> <p>松浦 5</p> <p>諫早 6</p> <p>壱岐 7</p> <p>佐世保 8</p> <p>上五島 9</p> <p>長崎 10</p> </div> <div style="flex: 1; text-align: center;"> </div> <div style="flex: 1; text-align: right;"> <p>優勝 東彼杵</p> <p>準優勝 長崎 ②</p> </div> </div> <hr/> <p><b>第9回(昭和61年)開催地=対馬</b> <span style="float: right;">参加数=6支部</span></p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="flex: 1;"> <p>東彼杵 1</p> <p>長崎 2</p> <p>対馬(上) 3</p> <p>県北 4</p> <p>福江 5</p> <p>壱岐 6</p> <p>対馬(下) 7</p> </div> <div style="flex: 1; text-align: center;"> </div> <div style="flex: 1; text-align: right;"> <p>優勝 東彼杵②</p> <p>準優勝 対馬(下)</p> </div> </div> <hr/> <p><b>第10回(昭和62年)開催地=県北</b> <span style="float: right;">参加数=13</span></p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="flex: 1;"> <p>西彼杵 1</p> <p>県北 2</p> <p>壱岐 3</p> <p>福江 4</p> <p>島原 5</p> <p>佐世保 6</p> <p>長崎 7</p> </div> <div style="flex: 1; text-align: center;"> </div> <div style="flex: 1;"> <p>8 大村</p> <p>9 東彼杵</p> <p>10 対馬</p> <p>11 松浦</p> <p>12 諫早</p> <p>13 上五島</p> </div> </div> <p style="text-align: center; color: red; font-weight: bold;">第1試合途中から降雨で大会中止</p>
--	---

第11回 (昭和63年) 開催地=福江 参加数=12

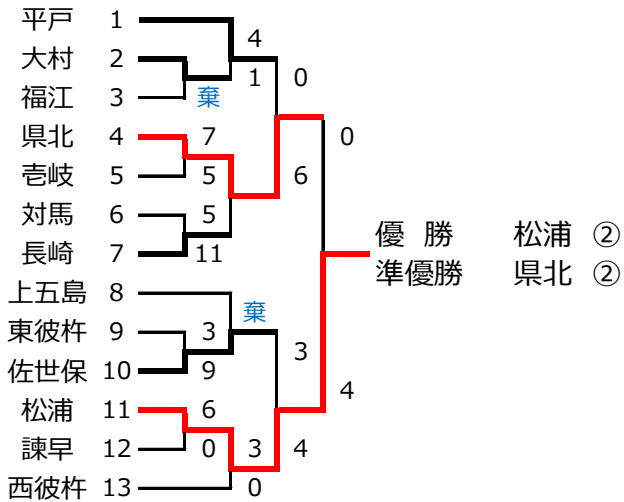


夜半の降雨によるグラウンド・コンディション不良で変則組み合わせ

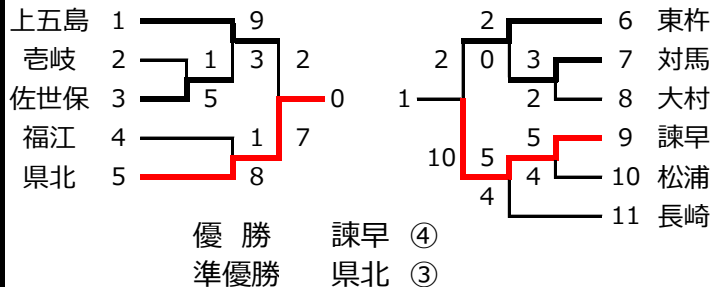
第12回 (平成元年) 開催地=西彼杵 参加数=14



第13回 (平成2年) 開催地=平戸 参加数=13



第14回 (平成3年) 開催地=大村 参加数=11

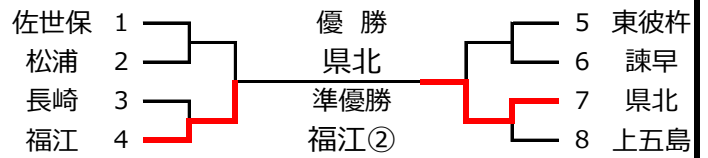


第15回 (平成4年) 開催地=松浦

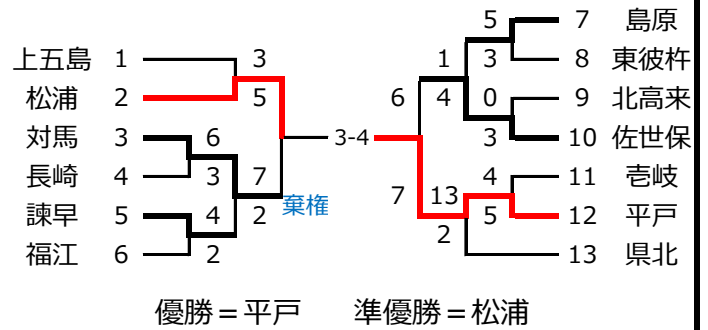
優勝 長崎  
準優勝 島原

詳細不明

第16回 (平成5年) 開催地=上五島 参加数=8

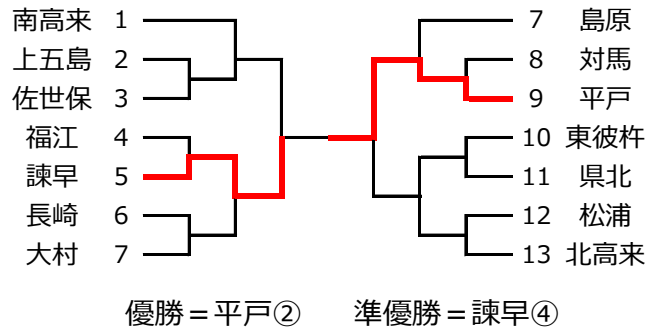


第17回 (平成6年) 開催地=県北 参加数=13



決勝戦は平戸がサヨナラホームラン(打者不明)

第18回 (平成7年) 開催地=島原・南高 参加数=14



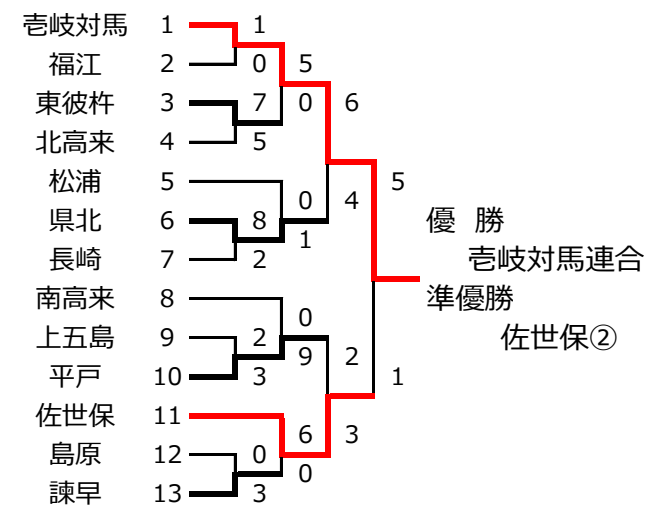
第19回 (平成8年) 開催地=北高来 参加数=12

優勝 佐世保③  
準優勝 平戸

詳細不明

第19回の北高来大会で、各支部ひと廻りとなった。

第20回 (平成9年) 開催地=佐世保 参加数=13



**第21回 (平成10年) 開催地=長崎** 参加数 = 13  
 会場は、前年竣工の県営ビッグN、新装のかきどまり野球場に  
 長崎商業野球場(3試合)の3会場

対馬	1	3
島原	2	1 3
東彼杵	3	1 2 5
福江	4	5
諫早	5	4 3 2
佐世保	6	6 5
平戸	7	5
南高来	8	棄
県北	9	2 2 3
松浦	10	1
長崎	11	6 1
北高来	12	棄 2
上五島	13	

優勝 県北 ②  
 準優勝 対馬

**第27回 (平成16年) 開催地=西彼杵** 参加数 = 9

優勝 平戸 ④  
 準優勝 松浦 ④

詳細不明

平成17年の北高来大会は、市町村合併で北高来郡が  
 消滅し、新・諫早支部が主管開催

**第28回 (平成17年) 開催地=諫早** 参加数 = 10

優勝 平戸 ⑤  
 準優勝 県北 ④

詳細不明

**第29回 (平成18年) 開催地=杵岐** 参加数 = 6

松浦	1
対馬	2
県北	3
佐世保	4
長崎	5
杵岐	6

2会場で一回戦2試合を  
 開催中に降雨。  
 打ち切りで  
 大会中止となった。

**第22回 (平成11年) 開催地=東彼杵** 参加数 = 10

優勝 平戸 ③  
 準優勝 佐世保③

詳細不明

**第30回 (平成19年) 開催地=長崎** 参加数 = 8

福江	1	0
杵岐対馬連合	2	7 4
県北	3	3 4 優勝
東彼杵	4	
長崎	5	準優勝
諫早・島原・県南連合	6	8 杵岐対馬連合
松浦	7	
平戸	8	

**第23回 (平成12年) 開催地=諫早** 参加数 = 13  
 リンクリーグ戦

優勝 県北 ③  
 準優勝 佐世保④

詳細不明

**第31回 (平成20年) 開催地=対馬** 参加数 = 7

杵岐6名+対馬3名	1	13
長崎	2	1 5
対馬(厳原地区)	3	1 4 3
県北	4	2
松浦	5	1
平戸②+福江③+東彼杵③+対馬①	6	4 0 0
対馬(美津島以北)	7	2

優勝 杵岐  
 準優勝 対馬

**第24回 (平成13年) 開催地=平戸** 参加数 = 9

優勝 長崎 ②  
 準優勝 松浦 ②

詳細不明

**第25回 (平成14年) 開催地=松浦** 参加数 = 6

優勝 松浦 ③  
 準優勝 平戸 ②

詳細不明

**第26回 (平成15年) 開催地=福江** 参加数 = 6

優勝 福江 ②  
 準優勝 松浦 ③

詳細不明

『長崎県軟式野球連盟各支部対抗審判員親睦野球大会』は平成20年の第31回対馬大会以降は休会中である。同年2月に開催した「県連審判部委員会」の場において、各支部所属審判員の減少化や高齢化

により野球大会開催が困難になってきたのが、休会の要因であるが、近年は各支部においても若手審判員が増えてきており、各支部審判員交流の場所として、『納会』の復活を期待するものである。

詳細不明大会を含む、トーナメントスコア未記載大会の結果等を所持して支部(個人)は、県連ホームページ担当者か、所属支部事務局へ情報提供をお願いします。追加記載します。

# 長崎県軟式野球連盟審判部親睦野球大会の歴代優勝(準優勝)チーム

回	年度	開催地	参加数	優勝回数	準優勝回数
1	昭和 53年	大村		佐世保 ①	諫早 ①
2	54年	島原		島原 ①	諫早 ②
3	55年	佐世保		諫早 ①	福江 ①
4	56年	北松		福江 ①	佐世保 ①
5	57年	諫早		諫早 ②	長崎 ①
6	58年	壱岐	8	佐世保 ②	大村 ①
7	59年	長崎		諫早 ③	北松 ①
8	60年	東彼杵	10	東彼杵 ①	長崎 ②
9	61年	対馬	7	東彼杵 ②	対馬・厳原地区 ①
10	62年	北松	14	雨天中止	
11	63年	福江	12	東彼杵 ③	諫早 ③
12	平成 元年	西彼杵		松浦 ①	西彼杵 ①
13	2年	平戸	13	松浦 ②	北松 ②
14	3年	大村	11	諫早 ④	北松 ③
15	4年	松浦		長崎 ①	島原 ①
16	5年	上五島	8	北松 ①	福江 ②
17	6年	北松	13	平戸 ①	松浦 ①
18	7年	島原・南高	14	平戸 ②	諫早 ④
19	8年	北高来	12	佐世保 ③	平戸 ①
20	9年	佐世保	13	壱岐対馬連合 ①	佐世保 ②
21	10年	長崎	13	北松 ②	対馬 ②
22	11年	東彼杵	10	平戸 ③	佐世保 ③
23	12年	諫早	13	北松 ③	佐世保 ④
24	13年	平戸	9	長崎 ②	松浦 ②
25	14年	松浦	6	松浦 ③	平戸 ②
26	15年	福江	6	福江 ②	松浦 ③
27	16年	西彼杵	9	平戸 ④	松浦 ④
28	17年	新・諫早	10	平戸 ⑤	北松 ④
29	18年	壱岐	6	雨天中止	
30	19年	長崎	8	平戸 ⑥	壱岐対馬連合 ①
31	20年	対馬	7	壱岐 ①	対馬/美津島以北 ③

優勝回数 ( ) は準優勝回数			
平戸	6 (2)	東彼杵	3 (0)
諫早	4 (4)	長崎	2 (2)
佐世保	3 (4)	福江	2 (2)
松浦	3 (4)	島原	1 (1)
北松	3 (4)	壱岐対馬連合	1 (1)
		壱岐	1 (0)
		対馬	0 (3)
		大村	0 (1)
		西彼杵	0 (1)
		県南/北高/上五島	0 (0)

開催時期は野球シーズンが終了した11月下旬から12月上旬であったが、小春日和の日ばかりでなく、平成2年の第13回平戸大会は『みぞれ』が降りしきる中での熱戦もあった。

優勝回数は上表であるが、3連覇したのは第8回からの『東彼杵』と、第27回からの『平戸』。共に、2連覇の翌年に「雨天中止」を間に4年間で達成している。